

2015年9月1日

JR東日本秋田支社

JR東日本秋田支社ビルの建替えについて

- JR東日本秋田支社ビルは、昭和33（1958）年以降順次建設され、昭和34（1959）年に概ね現在の形になりましたが、老朽化が進み、かつ分散して配置されていたため、土地利用効率が低いことから、次世代に向け、建替えを行うこととなりました。
- 新しい秋田支社ビルは現在の位置の南側に集約して建設し、駅前広場に面した現支社ビル跡地には、今般、秋田県、秋田市及び当社の三者で締結した「地方創生に向けたコンパクトなまちづくりに関する連携協定」の趣旨を踏まえて、駅周辺の賑わい創出に寄与する機能の導入を目指します。

1 計画概要

建設地：秋田市中通七丁目1番1号

構造：鉄骨造5階建て

延床面積：約6,250㎡（新築部分）

事業主：東日本旅客鉄道(株) 秋田支社

設計・施工監理：東日本旅客鉄道(株) 東北工事事務所

(株)ジェイアール東日本建築設計事務所

2 計画の考え方

- (1) 敷地内に分散していた建物を1棟に集約移転し、駅前広場に面した新たな用地を生み出します。
- (2) エントランスの内装には、秋田杉を用い、秋田らしさを発信します。
- (3) 長時間対応の非常用電源を設けることで大規模地震等災害時の拠点機能の強化を図ります。

3 工事期間

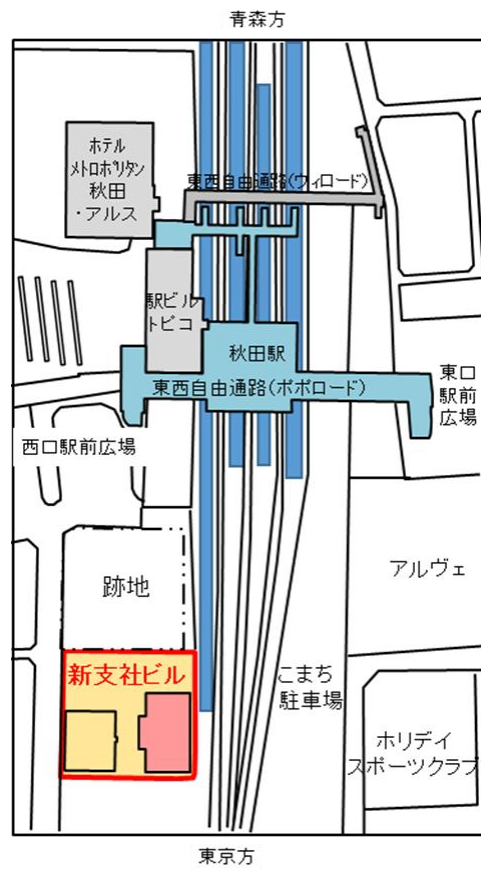
2016年1月 着工予定

2017年春 使用開始予定

4 現支社ビルの跡地の活用について

今般、秋田県、秋田市及び当社の三者で締結した「地方創生に向けたコンパクトなまちづくりに関する連携協定」の趣旨を踏まえて、秋田駅周辺の賑わいの創出に寄与する機能の導入を目指します。

■位置図



■外観イメージ



※計画中のため変更する場合があります。